

事務事業名		公用車借上事業(4tダンプ)				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり				所属課	建設水道課	担当	建設担当
	施策名	0:4: 快適な道路と公共交通網の整備				課長名	斎藤 秀人	担当者名	渡邊 高志
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		一般	0:7	0:1	0:1	0:0:1	道路管理費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 ( 29 年度～ 34 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 ・道路の維持管理、災害発生時の資材運搬等を目的に4tダンプを使用、管理しているが、平成6年登録、走行距離30万キロ超といった車両であり、老朽化、劣化が著しく、修繕用の部品も提供がストップしているものもあることから、同等な形状の車両をリースする。 ・※H29.7.31車検満了</p> <p>2 概算事業費 4tダンプ 二輪駆動 6速MT 86,400円/月額 × 60ヶ月 = 5,184千円 H29 86.4千円×8ヶ月 = 692千円/年 H30～H33 86.4千円×12ヶ月 = 1,034千円/年 H34 86.4千円×4ヶ月 = 346千円/年 ※リース期間終了後に車両を譲り受けるケースとせず、期間終了後に車両を返却する方式として、歳出額を抑制</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	・ 公用車購入	名称	単位
		ア 公用車購入	台
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	・ 道路維持管理業務	名称	単位
		ア 年間使用日数	日
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	・ 快適な道路環境の確保	名称	単位
		ア 維持管理不足による一般車両の事故発生件数	件

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値		1				0
	イ	実績値						0
対象指標	ア	目標値		223				0
	イ	実績値						0
成果指標	ア	目標値		0				0
	イ	実績値						0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0	
	事業内訳	県支出金	千円				0	
		地方債	千円				0	
		その他	千円				0	
		一般財源	千円		692	1,034	1,034	1,034
		事業費計 (A)	千円	0	692	1,034	1,034	1,034

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
	事業内訳	県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	道路管理者の責務である道路の維持管理に使用する車両である	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	既存車両の修繕も限界を迎えている	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	既存車両と同等な車両の新車価格を市場調査した結果 将来、用途が無くなることも考慮しての残価精算方式による歳出額の抑制	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	業務に必要不可欠の車両であり、住民サービス上、公平と判断している	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業